

「健康経営優良法人 2023 大規模法人部門(ホワイト 500)」 および「スポーツエールカンパニー2023」認定取得



大分キャノンマテリアル株式会社は、3年連続で「健康経営優良法人 2023 大規模法人部門(ホワイト 500)」に選定されました。「健康経営優良法人」は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度です。

また今年初めて「スポーツエールカンパニー2023」にも認定されました。スポーツエールカンパニーは、従業員の健康増進のためにスポーツの実施に向けた積極的な取り組みを行っている企業を認定する制度です。

大分キャノンマテリアル株式会社では、キャノン創業期から受け継がれている「健康第一主義」、自発・自治・自覚の「三自の精神」のもと、社員の活力向上、生産性向上など組織の活性化に取り組み、業績向上、利益創出につなげるため、社員、健康推進員(各課に1名以上)、労働組合、人事、経営層、産業保健スタッフが一丸となって健康経営を実践しています。

■2022年度の主な取り組み

増加するメタボ該当群・メタボ予備群対策として、キャノン健康保険組合と共同で、外部事業者による40歳以上への特定保健指導の実施に加え、30代のメタボ予備群にも産業保健スタッフによる特定保健指導を実施しています。

人事部門と連携して、入社一年次教育、55歳を対象としたクリエイティブライフセミナー、「女性の仕事と健康」をテーマとしたセミナー、年齢や職責に応じたメンタルヘルス教育を展開するなど、階層に応じた健康課題をテーマに教育を充実させています。

がん対策ではがん検診のリテラシー向上と、がん検診受診率の向上を目的にがんサバイバー講演会を開催することや健康推進員と連携した出張教育・予約会を開催しています。

近年の課題であった運動習慣の低下については、労働組合と筋トレ教室の開催、ICTツールを活用したキャノングループウォーキングイベントで「職場対抗戦」を開催し、毎週のランキング配信や独自インセンティブの設定により、参加者の増加、各職場のコミュニケーション活性化につながっています。その結果、運動習慣者の割合については増加傾向であり、個人比較では28.1%の参加者が通常時より歩数が増加したことがわかりました。

今後も経営層・産業保健スタッフ・労働組合・健保組合が協働して、生産性向上・組織の活性化を実現してまいります。

* これまでの取り組みについては弊社ホームページ、大分県のYouTubeでも紹介しております。[コチラ](#)

* 「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。